

動 物 科

報告者：山田 僚太

1 課 題

農業科の学習は、理科を中心とした多くの教科の内容を複合的に捉える必要がある。その中でも読解力は、生物と同様に科学的な文章を読み取る力、表やグラフを読み取る力、自分の考えを記述することや説明する力が求められる。本校生徒は農業の学習に意欲的である。一方で、学んだ知識を整理して活用することが苦手な生徒が多い。そこで（１）資料を基にした実験デザインの設定（２）実験結果の考察（３）自分の考えの説明の３点を読解力の課題として設定した。

2 目 標

- （１）資料から必要な情報を読み取り、情報を整理して活用させる。
- （２）自分の考えを言葉にして表現させる。
- （３）他者の意見を受けて、自分の考えを深めさせる。

3 具体的方策

- （１）生徒に資料を読ませ、重要語句を記入し内容の理解を促す。別途ワークシートを活用し、語句だけではなく内容の理解を深めるように指導する。
- （２）生徒を６人班に分け、（１）で学習した内容を基に、実験デザインを検討させる。グループワークを通して、生徒自身で考えることができるように指導する。教員が説明する時間を減らし、生徒の能動的な活動を引き出す。
- （３）クラス全体で、実験デザインを共有し１つに絞る。再度、グループワークを通して実験に適した試料を選択する。
- （４）実験後、その結果から考えられることについてグループワークを通して深めさせる。
- （５）各グループの考察を発表し、内容を共有することで、考えをさらに深化させる。

4 結 果

実験デザインの設定や考察を構築する際に、学んだ知識を活用しようとする姿勢が見られた。また、グループ内で互いの考えを共有する姿が見られ、生徒が自分の考えを言語化させる機会を作ることができた。多くの班が、教員の助言をほぼ受けずに考察をまとめることができた。一方で、個々を評価すると知識の理解が不十分な生徒もみられた。

5 次年度に向けての課題

知識理解に向けた指導は、ワークシートが中心となり、読解力に課題がある生徒には難易度が高いものとなった。今後は ICT 機器を活用して知識理解を深め、読解力の向上につなげたい。

「プロジェクト学習の充実」という目標に対しては、単発な取り組みになってしまった。次年度以降は、年間を通して取り組み、３年次の「課題研究」においてその成果が発揮できるように取り組んでいきたい。